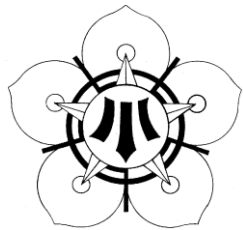


地域と家庭と学校が一つになって子どもを育む…それが“チーム七小”です！



くさぶえ

福生市立福生第七小学校
令和6年度 学校だより

福生第七小学校
ホームページ
URL



<https://fussa-7e.hs.fussa.school/>

所在地 福生市北田園一丁目1番地1

発行責任者 校長 山岸 史子

令和6年4月1日 発行

新年度 新たなスタートを迎えて

校長 山岸 史子

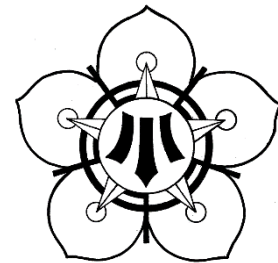
福生第七小学校は開校50周年という大きな節目を迎えました。この50年間で七小の卒業生は3691名となりました。今年度、新1年生36名を迎え、全校児童219名、開校当時と同じ9学級で出発しました。

昭和49年、豊かな自然に恵まれた多摩川沿いの一帯に広がる田畑の中に七小は誕生しました。福生市の発展とともに子どもたちの数も増え、新しい小・中学校が設置されていく中、福生第三中学校とともにこの地に誕生した、福生市立小学校の中で最も新しい小学校です。当時の子どもたちと保護者、地域の皆さんが、福生第三小学校から様々な教材・教具をここまで運び、学校を開いてくださったのです。東門を入ったところにある藤棚は、この時の6年生、すなわち第一回卒業生の卒業記念に植えられたものだと教えていただきました。

今年度の学校だよりでは、学校に残る様々な記録から福生第七小学校のあゆみをお伝えしていけたらと思います。

今回は「校章」についてです。「学校沿革史」から、以下のことが分かりました。

校章を形どる花は福生市花「つつじ」（5枚の花びら、5本のおしべ）を図案化したものです。このデザインは、描きやすさを考え20点ほど作られた案の中から、児童の投票、職員の意向を尊重して決定したそうです。



5本のおしべは、5人の子どもたちが手をつないでいる姿を表しており、教育目標にあった「なかよく協力する子ども」と校歌にある「手をつなぎ 力あわせて」を示すとともに、七小の「七」を表しているといいます。よく見ると、確かに手をつなぐ子どもの姿を線でつないだときに「七」が浮かび上がって見えてきます。教育目標の思いは変わりませんが、言葉は変わってきたようです。

教育目標

- よく考え すすんで学ぶ子
- 明るく 思いやりのある子
- 体をきたえ がんばり抜く子

現在の教育目標にもあるように、子どもたちが自分の考えをもって主体的に学習できる子、人を思い、大切にできる子、健康で力強く生きていく力のある子となって生き生きと成長できるよう教育活動を工夫・改善してまいります。

なかよく協力して、良く学びよく遊ぶ元気な毎日を過ごしていけるよう、職員一同、努めてまいります。これまで同様、保護者、地域の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。